

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2025 受賞者



グランプリ（国土交通大臣賞）山上奏布さん（株）フォーラムジャパン

美術と旅をコンセプトとしたツアーを多数企画・立案し、造成から集客、添乗までを一貫して手掛け、昨年度は本人名義で催行するオリジナルツアーを多数実施し、旅行会社の集客に大きく貢献。美術分野を得意とし、コロナ禍で添乗の仕事が一時的に途絶えた際には、YouTubeチャンネルを開設し、添乗員ならではの視点で、旅先の芸術や美術の魅力を発信。現在では登録者数5万人を超える人気チャンネルへと成長。添乗員としての技量も極めて高く、国内・海外ともにアンケート評価99%以上という評価を維持。著書「死ぬまでに行きたい世界の有名美術を1冊でめぐる旅」は発売直後に大きな反響を呼びテレビやラジオ等、多数のメディアにも取り上げられた。このような添乗員という職業の魅力を発信し、社会的地位向上に大きく貢献したとしてグランプリを受賞



準グランプリ（観光庁長官賞）榎戸真由美さん（株）阪急トラベルサポート

2024年8月インド視察ツアーに添乗中、ほとんどのお客様が体調不良となったが、一人一人に寄り添い体調を気遣いながら、医師の手配や体調が急変したお客様のケア等、深夜にわたり対応するとともに、個々の体調を勘案した行程の変更や時間配分を行い、全員無事に行程を終え帰国した。また、羽田空港到着時、台風の影響で国内線・新幹線がすべて運休という事態が発生したが、帰路確保のため急遽貸切バスを手配し、到着は深夜となったが、お客様は全員無事に帰宅することができた。後日派遣先旅行会社宛にお客様（視察企業）の役員から連絡があり、添乗員の対応力・気配りに対する称賛の言葉をいただいた。2025年3月トルコ周遊ツアーでは、現地の大雪による通行止めにより10時間以上もバス車内に缶詰になるトラブルが発生。添乗員は食料の調達や簡易トイレの設置、毛布の調達等献身的に対応。通行止め解除後、お客様の体調を考慮した日程変更を行い全員無事に帰国。献身的かつ安心安全な旅行サービスを提供したことが評価され、準グランプリを受賞。



委員長賞 菊地美智枝さん（株）近鉄HRパートナーズ

20代で添乗業務を始めるも結婚を機に主婦業・育児に専念することに。子育てが一段落した2016年に50歳で派遣添乗員として登録し添乗を再開。主婦業の傍ら通訳案内士の資格を取得し、「話してみよう韓国語」第1回福島大会のスピーチ部門最優秀賞を受賞。現在、国内外のあらゆるツアーに添乗しながら通訳案内士としても活躍。機転が利き、冷静な対応力・判断力は秀逸でVIP対応にも自信をもってアサインできる添乗員の一人。2024年の某自治体首長の海外訪問事業に同行。オランダ滞在ではゴッホの作品の貸与に関する重要な会議・交渉が予定される中、事前に首長に対しゴッホに関するレクチャーを行ったことで、首長から交渉がスムーズに進められたと高評価をもらい、帰国後、派遣先にも感謝の言葉をいただいた。



会長賞 西村見介さん（株）TEI

クルーズ添乗の経験が豊富な添乗員。某旅行会社ではクルーズといえば「見介さん」と経験豊富なだけでなく、添乗中の立ち居振る舞いや穏やかな性格による人望の厚さ、あらゆる面で旅行会社や他の添乗員からも尊敬される人物。「見介さんが添乗なら旅行に申し込む」といった声を多数もらうほどファンが多い。順調に添乗人生を送っていたが、2020年に身体に腫瘍が見つかりかなり進行していることが発覚。手術を余儀なくされ、術後は添乗に必要な体力を戻すべく自宅で療養することに。静養中も旅行説明会業務に従事する等商品販売に貢献。2024年5月には諦めかけていたクルーズ添乗に復帰し、期待通りの見事な添乗を披露。大病を患い添乗員生活の継続が厳しい中、本人の努力により見事復活し、現在も高い評価を得ている。

優秀賞

池田佳菜人さん（株）阪急交通社 亀井ゆかりさん（株）TEI 鈴木和恵さん（株）TEI

奨励賞

須崎泰子さん（株）エスティエス 有馬尚子さん、奥恵理さん、藤木宏子さん（以上（株）旅行綜研）

前田樹里さん、松尾和貴さん（以上（株）J&J ヒューマンソリューションズ） 柳田祐子さん、鴨下麻美さん（以上（株）読売旅行）

外山秀樹さん（株）ジャッツ 河野宏彰さん（株）近鉄HRパートナーズ

山田美由幸さん、玉那覇優二さん（以上（株）阪急トラベルサポート） 伊吹祐子さん（株）ブレイズワン

岡美津江さん（株）ティーンエイ 福本そのみさん、神田真利子さん、長谷川基代さん、遠藤裕子さん、

河辺喜美子さん、安斎洋文さん（以上（株）TEI）